

まだまだ働く爪です



桜爪



耕してこそ爪。

摩耗して爪幅が少なくなっても
高い反転・すき込み性能を保つ爪
桜爪誕生

高性能維持爪

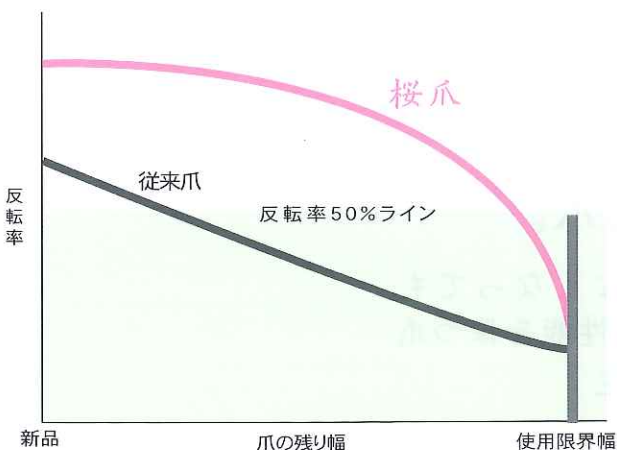
桜爪



耕うん爪の役割は土を耕すことです。摩耗によって爪の幅が少なくなり、耕せなくなった爪は爪の形をしていても耕うん爪とはいえません。耕うん作業をする限り摩耗は必ず起こります。それならば摩耗によりある程度爪の幅が少なくなっても土を耕す性能、すなわち反転性やすき込み性能が維持できる爪こそ本当に働く爪ではないか。そんな全く新しい設計思想から生まれた爪。"桜爪"が誕生しました。

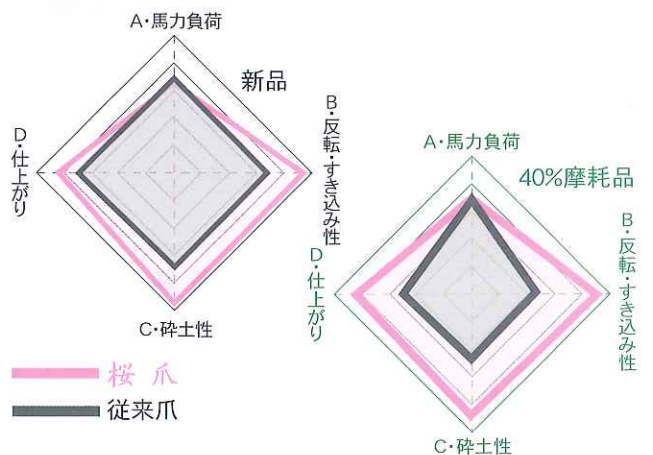
爪の残り幅と反転性の推移

従来爪は摩耗による爪幅の減少に伴い、反転率が直線的に低下するのに対し、桜爪は爪幅が少なくなっても高い反転性能を長時間維持します。




新品と40%摩耗した爪との性能比較

従来爪は40%摩耗時点で初期性能に比べかなりの性能低下が見られるのに対し、桜爪では同時点でも初期の性能を良好に保持し、高い耕うん性能を維持します。



* 性能比較データは墾壤土圃場における当社従来爪との社内比較テスト結果によるものであり、土質・水分量などの圃場条件および作業条件によって異なります。
* 『さくら』は登録商標です

 株式会社 太陽

本社 〒781-5101 高知県高知市布師田3950
TEL (088) 846-1230 FAX (088) 846-2704